

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和6年度においては、次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、新大学キャンパスのエントランス部分の木質化を実施しました。
- また、区役所や本庁舎といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、椅子、屋外ウッドデッキ等の整備を実施しました。

□ 事業内容

国産木材を活用した来庁者用備品等整備事業（施設名 阿倍野区役所）

- 来庁者がよく利用する、1階待合ロビー、2階大会議室前ロビー等に、木製什器を導入することで、来庁者に国産木材の良さを再認識してもらい、国産木材の利用促進を図った。

【事業費】2,965千円（うち譲与税2,965千円）

【実績】ベンチ、テーブル、椅子



□ 事業スキーム

- 制限付一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- 来庁者がよく利用する、1階住民登録・戸籍担当窓口待合ロビー、介護保険担当窓口待合及び、2階大会議室前ロビーに、木製什器を導入することで、来庁者に国産木材を良さを再認識してもらい、国産木材の利用促進を図った。



□ 基礎データ

①令和6年度譲与額：337,851千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より